

第 55 期 滋賀地方最低賃金審議会

令和 3 年度第 3 回滋賀県窯業・土石製品製造業専門部会議事要旨

開催日時	令和 3 年 10 月 21 日（木） 9 時 28 分～12 時 5 分
開催場所	滋賀労働局 6 階会議室
出席状況	公益代表委員（定数 3 人） 木下康代 佐野洋史 労働者代表委員（定数 3 人） 相澤三千代 旭 光輝 津田真志 使用者代表委員（定数 3 人） 枝國聡司 中村 淳 西田保夫 事務局 4 人 矢野労働基準部長、綿貫賃金室長、 神崎室長補佐、福間賃金指導官
主要議題	滋賀県窯業・土石製品製造業最低賃金の改正決定について（金額審議）
議事要旨	<p>・労使各側委員の主張概要</p> <p>労側委員の主張</p> <p>液晶ディスプレイや衛生陶器は好調、カーボン系は回復していないとのことだが、カーボンブラック（タイヤ部材や建設部材となる工業用ゴム製品）等は緩やかな成長を遂げると世界的に予測されている。傘下のカーボン系労組企業の純利益も順調に伸びている。滋賀県内企業動向調査 2021 年 7 月-9 月期の窯業・土石は「自動車・電池関係を主にコロナ禍前 2019 年の売り上げ水準に戻っている。」とされており、使側が主張するマイナス面だけではないとして、連合（全国）今春春闘回答集計「パート賃上げ額加重平均」「今年度の産別改正の申出（公正競争ケース）参加 7 組合の今春闘賃上げ額」に基づく引上げ額を提示。その後、協議を経て、18 円引上げで合意。</p> <p>使側委員の主張</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中小零細企業に大きな影響が出ている状況が続いており、立て直しつつあるところもあれば、今なお打撃を受け続けているところもある。また、カーボン系の回復基調については、状況を正確に反映しているか不明な点もある。最賃引上げに係る人件費を取引価格へ転嫁できない特に中小・零細企業の先行きは不透明と言わざるを得ない状況は続いていると主張。その後、協議を経て、18 円引上げ時間額 942 円で合意。</p> <p>・公労使の全会一致により、引上げ額 18 円となる時間額 942 円を第 5 回本審で報告することとなった。</p>